

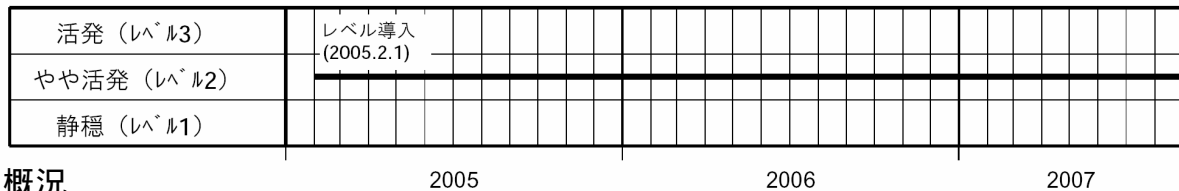
薩摩硫黄島

火山活動評価：やや活発な状況(レベル2)

噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しています。

2005年2月1日の導入以降、レベル2が継続しています。

火山活動度レベルの推移



概況

・噴煙活動(図2)

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、やや活発な状態で経過しています。

噴煙は白色で、高さは概ね200m(最高高度は500m)で推移しました。

・地震、微動活動(図2、図3)

地震活動はやや活発な状態で経過しています。

火山性地震の月回数(7月:186回)とやや多い状態が続いています。

継続時間の短い火山性微動は1回(7月:3回)発生しました。

火山性連続微動は観測されませんでした。

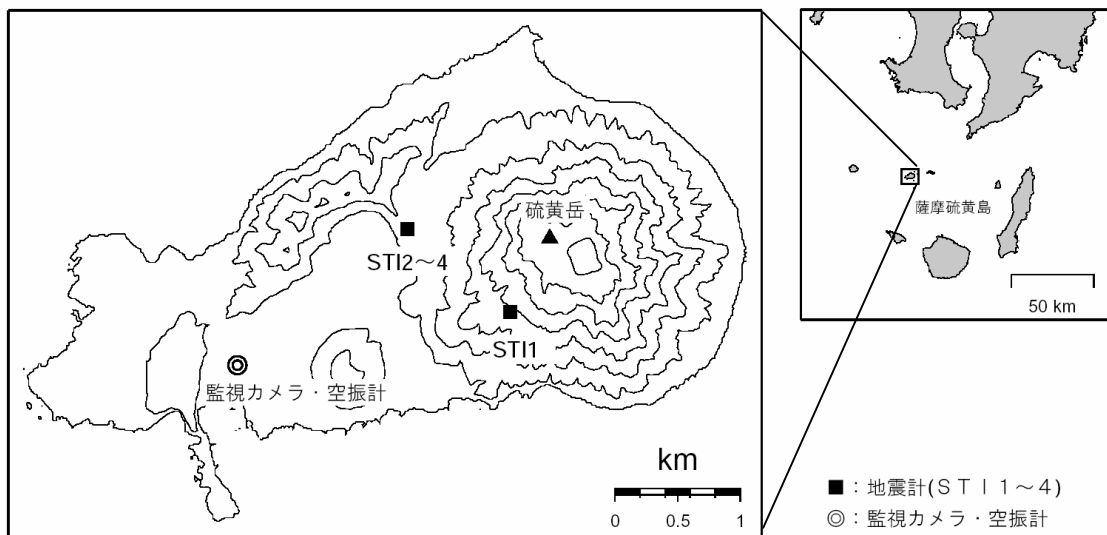


図1 薩摩硫黄島 観測点配置図

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 10mメッシュ(火山標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

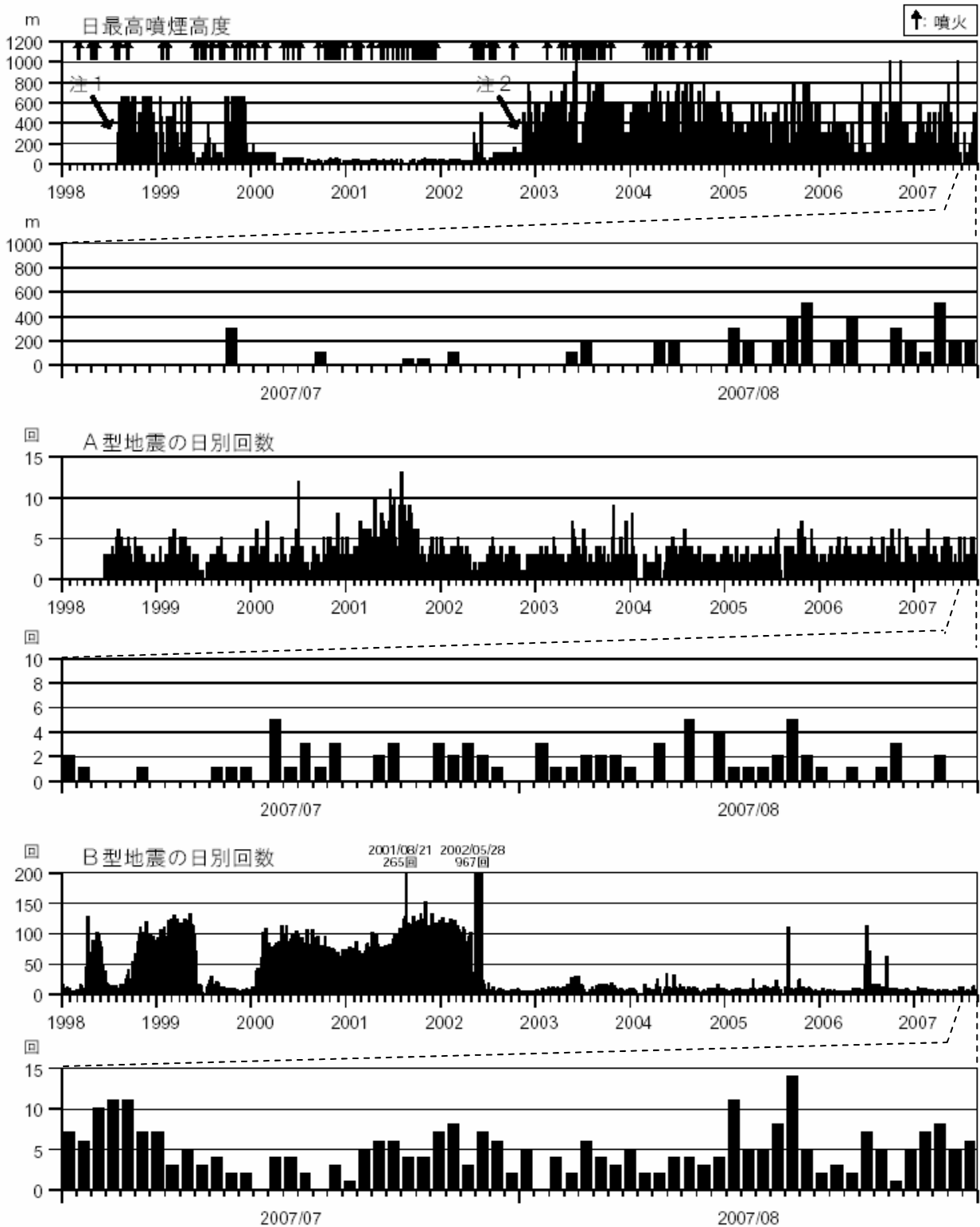


図2 薩摩硫黄島 火山活動経過図(1998年1月1日～2007年8月31日)

- ・噴火はありませんでした。
- ・噴煙高度の最高は20日、29日の火口縁上500m(7月：300m)でした。
- ・A型地震は44回(7月：36回)で、大きな変化はありませんでした。
- ・B型地震は120回(7月：150回)で、大きな変化はありませんでした。

注1 1998年8月1日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。

注2 2002年11月16日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

* 8月27日から31日まで地震計(ST11)の機器障害のため、ST13で回数等の計数を行いました。

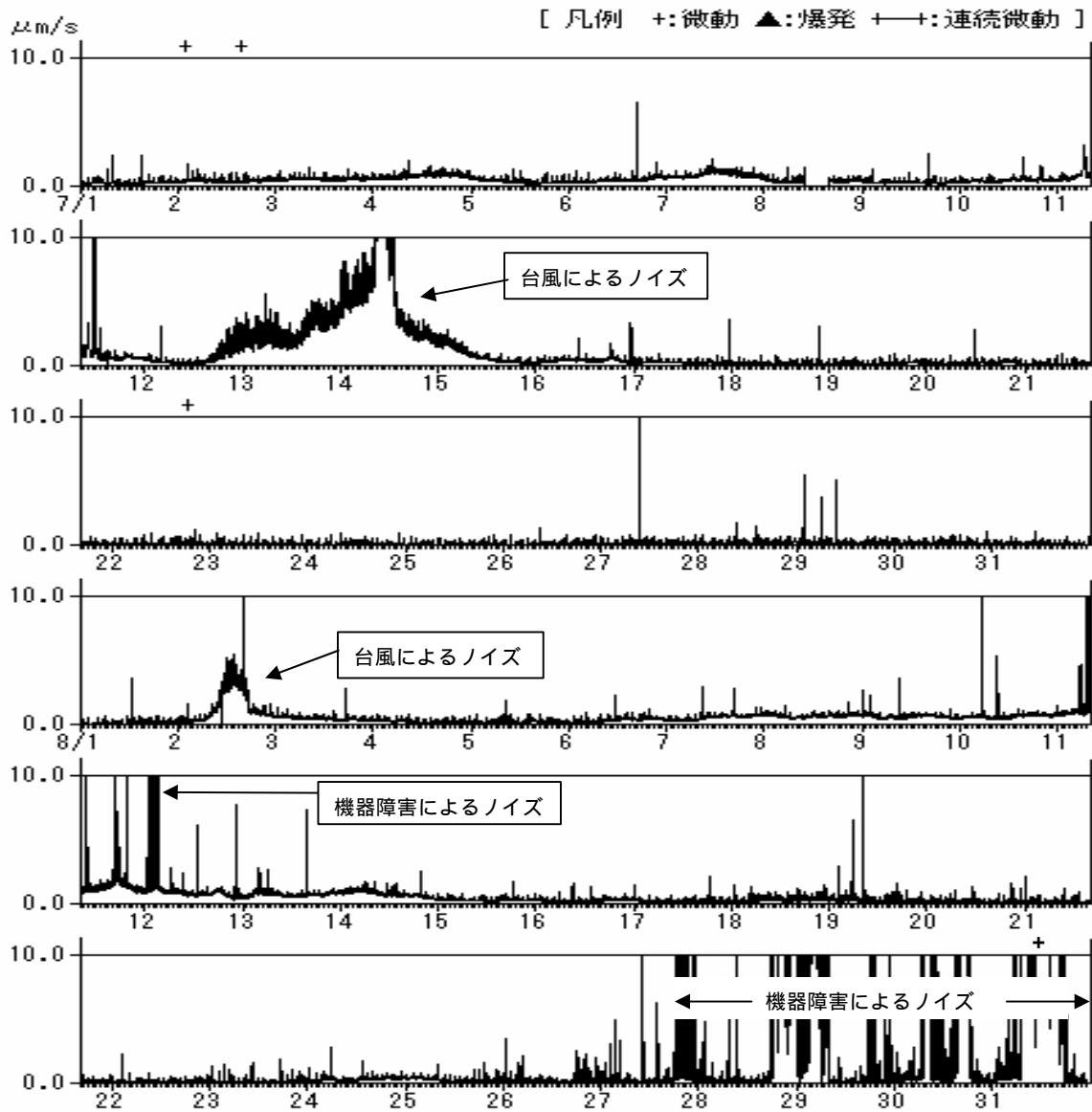


図3 薩摩硫黄島 1分間平均振幅の時間変化(ST11上下成分)(2007年7月1日~8月31日)

- ・火山性連続微動は観測されませんでした。
- ・継続時間の短い火山性微動は1回発生しました。

* 8月27日から31日まで地震計(ST11)の機器障害のため、ST13で回数等の計数を行いました。